

## 「自然と共生した流域圏・都市の再生」

### 開催のご案内

平成17年12月に総合科学技術会議で、今後5年間の科学技術に関する予算、人材等の資源配分を方針づける第3期科学技術基本計画が示され、それに対応して、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノ・材料を重点推進4分野として分野別推進戦略が策定されました。

また、第3期環境分野推進戦略計画での環境分野では、気候変動（地球温暖化）を含む6つの重点的な推進研究領域の一つとして、「水・物質循環と流域圏」研究が設定されています。この研究は、第2期基本計画における「自然共生型流域圏・都市の再生」研究と「地球規模水循環変動」研究を発展的に統合し、「生態系管理」研究等とも連携しつつ重点的に推進することとしているものであり、関係各省等が連携して取り組むこととされています。

この課題は、自然科学のみならず人文社会科学（経済・社会・人文まで広い学問分野）を含んだ学際的な大きな研究課題であるため、多くの人の経験と知識、そして共同した取り組みが必要と考えられます。「自然共生型流域圏・都市の再生」および「地球規模水循環変動」の研究の成果や培われた人的ネットワークを踏まえつつ、「生態系」の関係者とも連携して、研究を進める必要があると考えられます。

そこで、この研究課題に関心をもつ研究者、政策決定者等が集まり、分野を超えて、外からの広い視野から、この研究を支える活動が重要ではないかということで、本ワークショップの実行委員会が、これまでのワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会を継承、発展させつつ組織され、ワークショップを開催することとなりました。

開催日時：平成19年2月22日（木） 13：00～18：00

開催場所：発明会館 「発明会館ホール」 東京都港区虎ノ門2丁目9-14  
：03-3502-5499）

<http://hatsumeikaikan.com/index.html>

交 通 地下鉄銀座線虎ノ門駅 3番出口徒歩5分

地下鉄千代田線霞ヶ関駅 A-13番出口徒歩10分

会 費：無 料

申 込 先：下記までFAXまたはE-mailにて、氏名・勤務先・勤務先住所・（FAX）・E-mail  
を明記の上お申し込み下さい。

W.S「自然と共生した流域圏・都市の再生」事務局：小林、岩崎

〒102-0082 東京都千代田区一番町8（一番町F Sビル3階）

（財）リバーフロント整備センター内

TEL：03-3265-7121 FAX：03-3265-7456

E-mail：shizenkyo@rfc.or.jp

申込締切 平成19年2月20日（火）

定 員 250名

主 催 ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」実行委員会

共催（予定） 内閣府

後援（予定） 文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省

## プログラム（予定）

### 内 容

		（敬称略）
13:00	1. 挨拶	実行委員長 丹保憲仁 総合科学技術会議議員 薬師寺泰蔵
13:15	2. 基調講演 「水・物質循環と流域圏研究の展望」	福島大学教授 虫明巧臣
13:45	3. 第3期環境分野推進戦略と研究の推進について	内閣府総合科学技術会議 参事官 青木康展
14:15	4. 第2期計画における研究成果と展望 「自然と共生する流域圏・都市の再生」	国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部長 福田晴耕
14:45	「生態系管理」	筑波大学助教授 恩田裕一
15:15	5. 休息	
15:30	6. 総合討論 連携により「水・物質循環と流域圏研究」をいかに進めるか 進行：内閣府総合科学技術会議 参事官 青木康展 日本大学教授 吉川勝秀 討議者：上記講演者、京都大学教授 三野徹、滋賀大学教授 中村正久、 慶応義塾大学教授 岸由二、（独）国立環境研究所領域長 木幡邦男	
17:55	7. 閉会の挨拶	WS 実行委員会
	終了	

**FAX 03-3265-7456**

ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」事務局  
（財）リバーフロント整備センター 研究第四部 岩崎 行

- 参加申込書 -

平成19年2月22日（木）に開催される

ワークショップ「自然と共生した流域圏・都市の再生」に参加希望します。

氏名	勤務先	勤務先住所	(Fax)	E-mail

お申込み時にご記入いただく個人情報は、本ワークショップ事務局が責任を持って厳重に管理し、申込み者への連絡、シンポジウム運営以外に使用することはありません。